

赤石地区 ひづめ館懇話会

会員募集!

赤石小学校のある場所に、奥州藤原氏ゆかりの樋爪氏の館がありました。もしかして、赤石には平泉と同じような街並みがあったかもしれません。こんなことに関する資料を集め、みんなで話したり聞いたりする会です。

若い方も年配者も、男性・女性どなたでも
初めての人も、大歓迎です。

- ☆ 毎月第3水曜日の夜、赤石公民館で会員による懇話会を開きます。
- ☆ 年2回、専門の方を招き、樋爪館に関する講演会を開催します。
- ☆ 子どもから高齢者まで、広い年代を対象とした活動も行います。
 - ◎ 9月27日(日曜日)に、『樋爪館遺跡めぐり』を計画しています。会員には、8月中に詳細をお知らせする予定です。
- ☆ 収集した樋爪館に関する資料は、分類・整理し索引を付けて保管し、いつでも誰でも閲覧できるようにします。
- ☆ 地元の貴重な歴史を知ることにより、郷土に誇りをもって行動する人々を育み、町おこしのお役に立つ活動をします。

加入申込書は、赤石公民館に用意してあります。遠慮なくお話しください。

- ⇒ この会は、平成20年度赤石地区創造会議「歴史班」の活動に参加した有志の手で立ち上げました。
- ⇒ この会の事業は、平成21年7月22日に行われた公開審査会で、紫波町の平成21年度地域づくり活動補助金交付事業として認定されました。

公開審査会のプレゼンテーションの様子は、裏面の岩手日報の記事のコピーや説明用パネルの一部写し等をご覧ください。

はじめに

赤石地区創造会議の話し合いの中で、地元の文化遺産を大切にし、これを町おこしに活かすために、自分たちで何ができるかを考えたことから、同じ思いをもつ人たちが集まって、会を立ち上げることになりました。

なぜ、会の名称を“ひづめ”と、ひらがなに、したか。

現在の地名の「日詰」ではありません。「樋爪」「比爪」「火爪」が使われています。紫波町教育委員会の、発掘調査報告書は「比爪館」であり、赤石小学校の角にある標示板は「樋爪館跡」で、ふりがなは「ひづめだてあと」となっています。

では、「館」は「だて」でしょうか。「たて」や「たち」と言う人もいます。最近五郎沼の古代蓮の池そばに建った案内板の絵図板には、「ひづめのたち」と、ふりがなが付いています。

⇒ さて、他所から来た誰かを案内するとき、あなたなら、どう言いますか ???

赤石に平泉と同じ規模の街並みがあった - - -

と、言えば、いいかげんなことを言うなと思う人が多いでしょう。だが、全く根拠の無い話ではありません。

平泉で柳乃御所跡遺跡が発掘されたのは10数年前、「中尊寺」から約2キロの距離があります。赤石の薬師神社のそばに、その名も「大莊嚴寺」という寺院があったと伝えられています。昨年、ここから2キロ余りの下川原遺跡の発掘調査で、同じ時代の大きな建物と推定される柱の跡が出ました。北上川に近い場所であるのも共通しています。

そして、さらに - - - - -

- ① 今年1月、よんりん舎主催の歴史勉強会の講師は、『もしかして平泉級の都市が埋もれているのかもしれない。』と話しています。
- ② 現在、発掘調査が進行中の南日詰の「小路口遺跡」でも、平泉と同時期の遺構や遺物が出ています。

??? もっと もっと たくさん知りたいことが あると思いませんか ???

むすび

いま、平泉に外国人が見学を訪れない日はありません。将来、紫波町・赤石に町外、県外はもとより、国外の人々が連日のように訪れる日が、実現することを願いながら、『継続は力なり』を念頭に息の長い活動が続けていきます。